

## 臨床検査学科カリキュラム・ポリシー

臨床検査学科のディプロマ・ポリシーの達成を目指し、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成し、学修効果を適切に評価する。

1. 他人を思いやる、豊かな人間性や高い倫理観をもち、臨床検査学のプロフェッショナルリズムの涵養に必要な教養科目を、4年間を通して学修できるようにバランス良く配置する。
2. 臨床検査学および周辺学問領域の最新の専門知識・技術を持ち、それらを総合的に活用できる思考力・分析力を高めるために、検査専門分野科目を系統的かつ段階的に学修できるように配置する。
3. 新しい検査技術を開発するため常に学修し、医療の中で直面する課題を真摯に探求する能力を高めることができる科目を配置する。
4. 医療現場における臨床検査専門職に必要な知識・技術・態度を段階的に獲得できるように、関連する内容は講義科目・演習科目・実習科目で構成する。
5. 実習科目は、学生ひとり一人の個別性に応じて学修できるように、少人数の学生に教員1名を配置する形態で授業を展開し、検査技術を習得できる教育とする。
6. 自主的かつ自律的に学修できるように自習時間を適正に組み込んだ時間割を編成する。
7. 学修成果は、小テスト・課題、定期試験・レポート試験など複数の方法を用いて総合的に評価する。また、各授業終了時の感想・意見および全授業終了後の学生評価アンケートなどの学生による評価を授業改善に取り入れ、学生・教員双方向の授業を展開する。